

第2学年 A 組

2年A組担任

1 学年経営目標(3年間を見通した指導を行う)

協働 ～生徒も職員も保護者も笑顔～

2 学年目標

共生 ～認め合い・自律～

3 学級経営目標

- ・相手のことを考えて言動をとることができる。
- ・クラスみんなが安心できる生活を送れるようにする。

4 クラス目標(生徒が話し合いで決めたもの)

「神の手～誰にでも差しのべる想いの手～」

5 具体的な目標と取り組み

項目	目標	(目標を達成させるための) 具体的な取り組み
学習指導	基礎学力の定着に向けて、話し合い、教え合いの活性化。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律の定着、学習計画の立て方、学習方法の指導を個別に必要なに応じて行う。 ・学習意欲の向上を目指して授業の工夫を行い、生徒自らが課題を見つけ、解決する活動を意図的に準備する。
道徳教育	集団の一員として責任感を持ち、自律した心を養う。 自分自身の言動が他者に及ぼす影響を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の会や帰りの会、清掃活動や当番活動など、日常の学校生活の中で、一人ひとりが役割を自覚し、活動に取り組む場を用意する。 ・学校行事を普段の学校生活の延長線上と捉え、行事をきっかけに集団の道徳性の向上や関係性の向上を図り、日常生活につながる活動を行う。
キャリア教育 (進路学習)	・社会の一員としての自覚とともに、将来の夢の実現に向けて、自分の進路を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に高校に行ったり、先輩の話を開いたりすることで、進学する理由やイメージを膨らませる。 ・学ぶこととはどういうことか、学ぶために必要な力は何かを、総合的な学習の時間の体験や調査を通して、理解する。
生活指導	社会性の向上。 ・善悪の判断、最適な行動の選択。	<ul style="list-style-type: none"> ・規律ある生活を生徒同士で作られられるよう支援・指導を行う。 ・時と場に応じた態度や言動の必要性を理解させ、身につけられるようにする。 ・自己決定の場を可能な限り設定する。
特別活動	・課題発見、解決能力の向上。 ・第三者からの評価と自己評価との誤差の減少。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会・専門委員会・学級の連携を図り、委員会活動に係の活動がリンクするような取り組みにし、リーダーとフォロワーの育成する。 ・定期的な(2週に1回程度)班長会の実施、課題発見・解決に向けた話し合いと実践、振り返りを行う。 ・エンカウンター等の活動を実践し、ルールを守ることや協働的活動、楽しむことを通して関係づくりの強化を行う。
保護者との連携	・家庭の共感関係の構築。 ・学年の教育活動への理解の向上。 ・家庭の困り感の聞き取りや気軽に相談される学校の体制づくり。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密にするために、普段の頑張りや良さを連絡して伝える。 ・定期的なお便りで学級の活動や生徒の様子を伝える。 ・必要に応じて面談を組み、特別支援コーディネーターやカウンセラー、支援室と連携して対応する。